

分類区分	③安全管理
------	-------

【担当出張所等：高田河川国道事務所 直江津国道維持出張所】

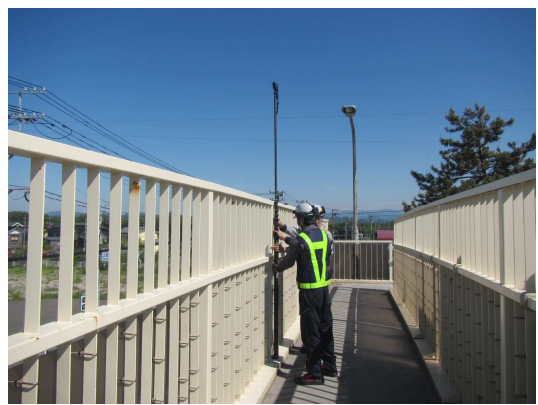
施工技術報告

報文タイトル	点在工事における安全管理
工 事 名	令和3年度高田管内道路CCTV設備工事
施 工 業 者 名	株式会社イトラスト
報 告 者 名	吉田 道明（よしだ みちあき）〔現場代理人〕
工 事 概 要	本工事は高田河川国道事務所管内におけるCCTV設備を4台新設、3台更新するもの。
報文概要	本工事は施工箇所7箇所と点在しており、施工についても比較的短期間で終了する。このような点在・短期の施工におけるカメラ画角調査及び気象情報収集について記載する。
実施内容	1. 高所作業車を使わないカメラ画角調査について。 2. 簡易型の気象観測装置を現場に設置し、作業中止判断を行うための気象情報を収集する。
実施結果	1. 規制の手間や作業時間を短縮することが可能であった。 2. 作業箇所の正確な気象情報を簡単に把握することが可能であった。

1. 高所作業車を使わないカメラの画角調査について
 本工事のCCTV カメラの新設箇所において、カメラ設置前に画角調査が必要であった。従来は、高所作業車を使用する必要があったが、伸縮ロッドにデジタルカメラ(Wi-Fi対応)を取付けてスマートフォンと画面を連動させることで地上からカメラ画角の調査を行った。高所作業車を設置するスペースの確保や規制を行う時間がなくなり、効率よく画角調査を行うことが可能であった。



撮影状況1



撮影状況2



デジタルカメラ（撮影状況）



撮影画像

2. 簡易型気象観測装置の設置

昨今では気象情報の収集においては携帯電話を活用したインターネットにより確認を行うことができる。しかしながら、現場条件によっては携帯電話の電波が入らない、現場と公開されている気象情報が合わない等の問題も起こりえる。施工箇所が単一であったり、長期間の施工が必要な現場の際には本格的な気象観測装置を設置するなどの対応が容易であるが、施工箇所が点在するうえ、施工自体が短期で終了する本工事のような場合にはそれらの対応は難しい。そのため、本工事では簡易型の気象観測装置を現場に設置する。設置設定が容易であり、施工箇所が点在する工事においては特に効果的であると考えられる。

本工事で使用予定の気象観測装置は別途電源を用意する必要がなく、太陽光パネルとバッテリーで動作し、観測データは低出力無線で150m以内の監視モニタにて気温・湿度・風向・風速・雨量・気圧の6項目の確認が行える。



監視モニタ確認



気象情報表示